

県農産物の消費行動等に関するアンケート調査

農政課

1 調査目的

県民の皆さんの安全・安心な食生活について現状や意識を把握し、今後の施策の参考とするため、県民の皆さんの意見や感想を伺いました。

2 調査対象等

調査対象: 県政モニター964人(うちインターネットモニター633人)

調査方法: 郵送及びインターネット

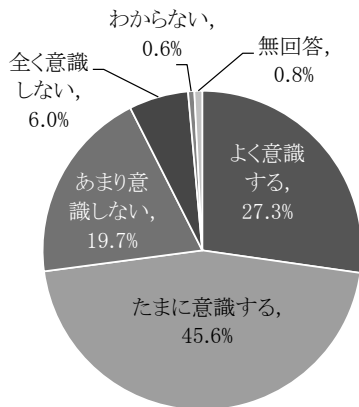
調査期間: 令和3年12月2日～12月20日

回収結果: 631人(回収率65.5%)

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。
そのため、合計が100%にならない場合があります。

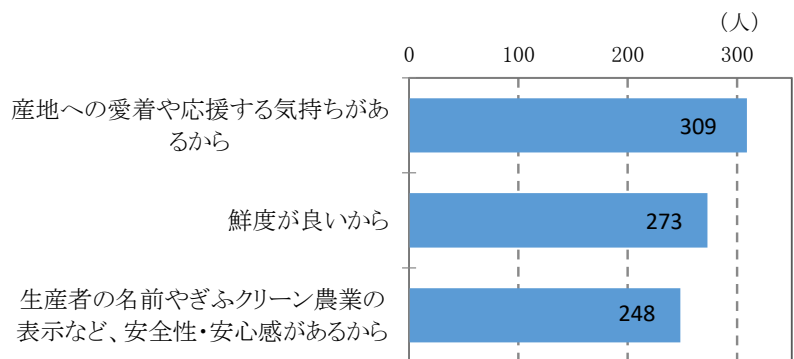
3 結果概要

○地産地消に対する意識

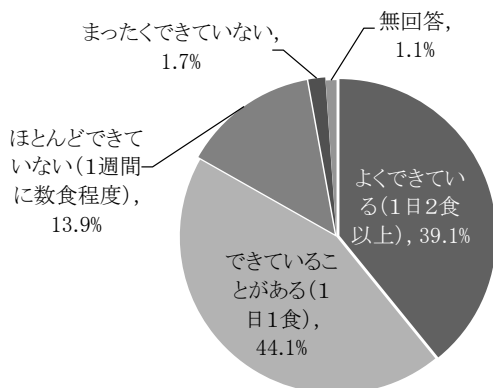


【意識する理由(上位3つ)】

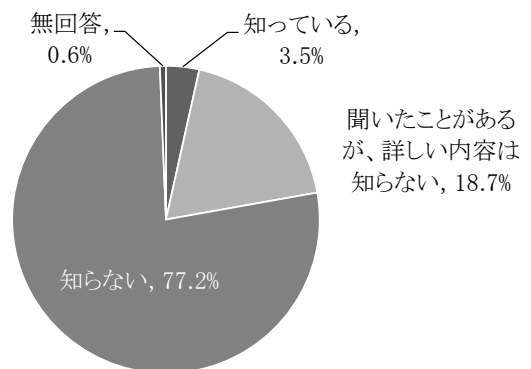
※「よく意識する」または「たまに意識する」と回答した方



○バランスのとれた食生活



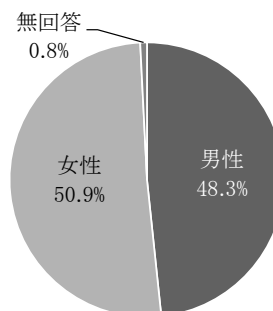
○ぎふ清流GAP評価制度の認知度



4 回答者属性

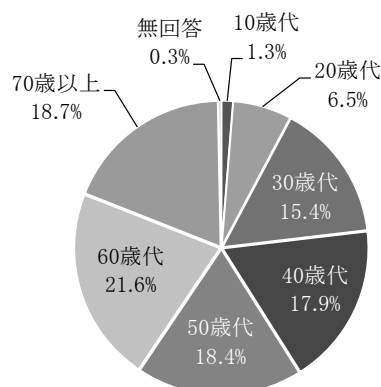
(1) 性別

	人数	割合
男性	305	48.3%
女性	321	50.9%
無回答	5	0.8%
計	631	100.0%



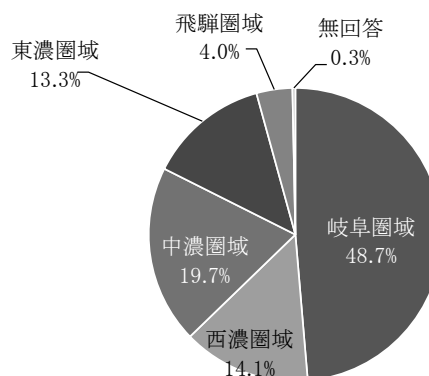
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	8	1.3%
20歳代	41	6.5%
30歳代	97	15.4%
40歳代	113	17.9%
50歳代	116	18.4%
60歳代	136	21.6%
70歳以上	118	18.7%
無回答	2	0.3%
計	631	100.0%



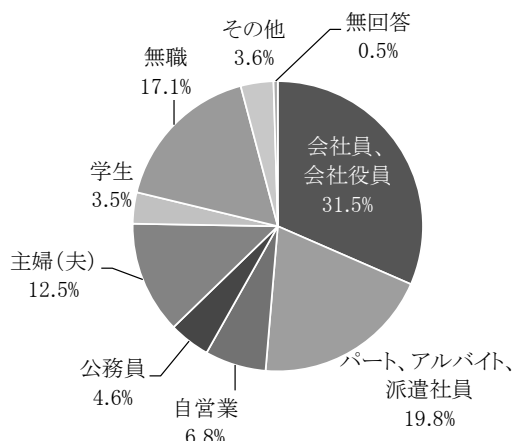
(3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	307	48.7%
西濃圏域	89	14.1%
中濃圏域	124	19.7%
東濃圏域	84	13.3%
飛騨圏域	25	4.0%
無回答	2	0.3%
計	631	100.0%



(4) 職業別

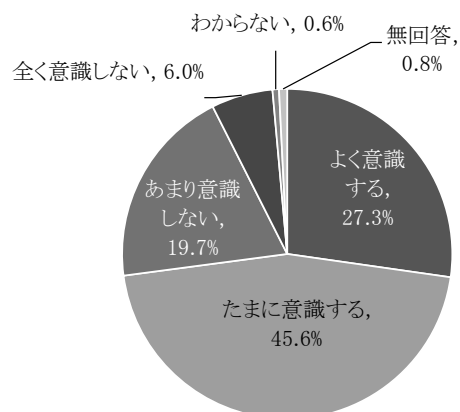
	人数	割合
会社員、会社役員	199	31.5%
パート、アルバイト、派遣社員	125	19.8%
自営業	43	6.8%
公務員	29	4.6%
主婦(夫)	79	12.5%
学生	22	3.5%
無職	108	17.1%
その他	23	3.6%
無回答	3	0.5%
計	631	100.0%



5 調査結果

問1 農産物を購入するとき、岐阜県産のものを選ぶなど「地産地消」を意識していますか。

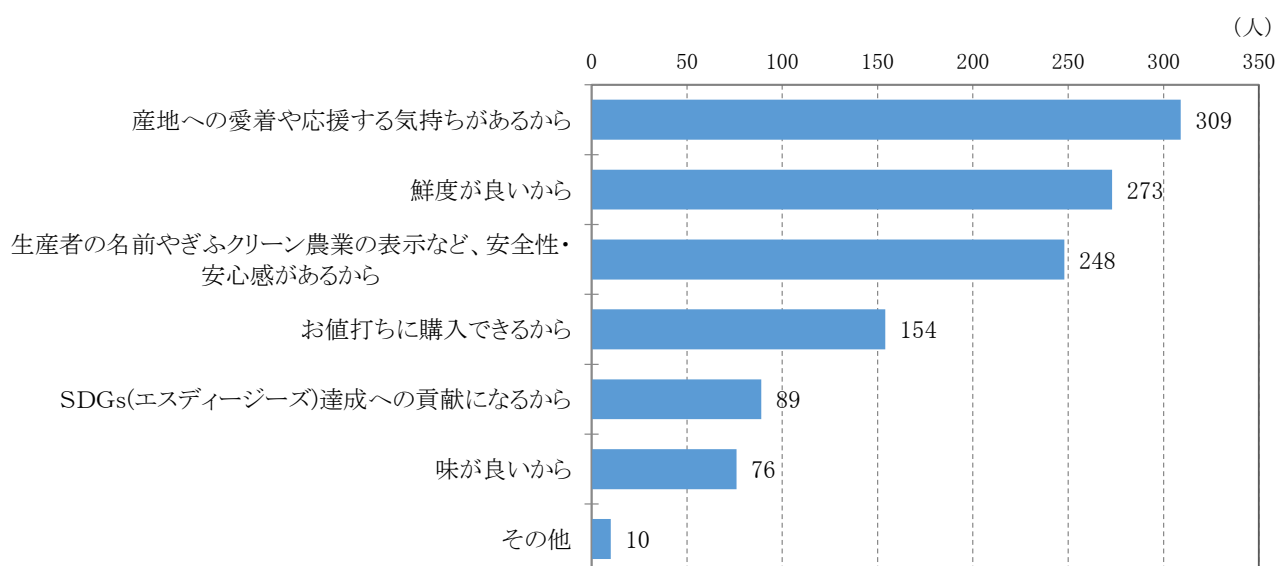
	人数	割合
よく意識する	172	27.3%
たまに意識する	288	45.6%
あまり意識しない	124	19.7%
全く意識しない	38	6.0%
わからない	4	0.6%
無回答	5	0.8%
計	631	100.0%



問2 (問1で「よく意識する」または「たまに意識する」と答えた方)

地産地消を意識して購入するのはなぜですか。 (複数回答) 回答者460人

	回答数	割合
産地への愛着や応援する気持ちがあるから	309	67.2%
鮮度が良いから	273	59.3%
生産者の名前やぎふグリーン農業の表示など、安全性・安心感があるから	248	53.9%
お値打ちに購入できるから	154	33.5%
SDGs(エスディージーズ)達成への貢献になるから	89	19.3%
味が良いから	76	16.5%
その他	10	2.2%
計	1,159	-

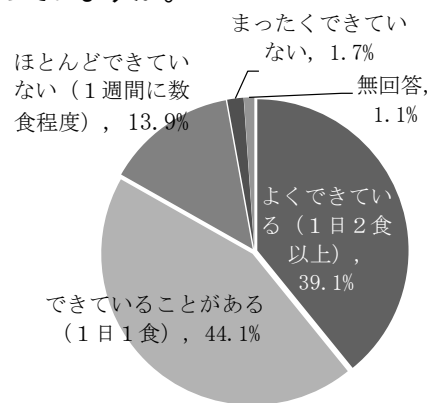


「その他」のうち主なもの

- ・住んでいる地域に近い食品が体に合っていると思うから
- ・自分でも農作物を道の駅に出しているから

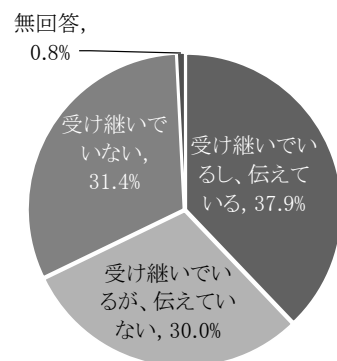
問3 主食、主菜、副菜を基本にバランスのとれた食生活を送っていますか。

	人数	割合
よくできている(1日2食以上)	247	39.1%
できていることがある(1日1食)	278	44.1%
ほとんどできていない(1週間に数食程度)	88	13.9%
まったくできていない	11	1.7%
無回答	7	1.1%
計	631	100.0%



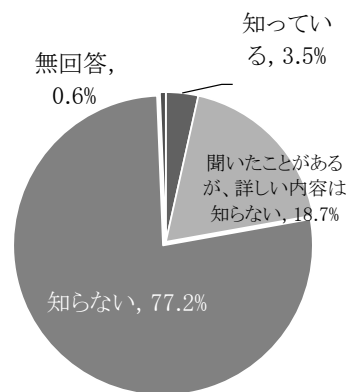
問4 郷土料理や伝統食など、地域や家庭に伝わる料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法について受け継いでいますか。また、地域や次世代(子どもやお孫さんを含む)に伝えていきますか。

	人数	割合
受け継いでいるし、伝えている	239	37.9%
受け継いでいるが、伝えていない	189	30.0%
受け継いでいない	198	31.4%
無回答	5	0.8%
計	631	100.0%



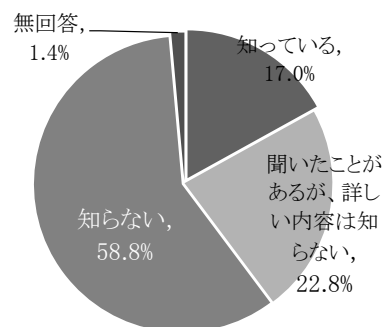
問5 「ぎふ清流GAP評価制度」または「ぎふ清流GAP農産物」をご存じですか。

	人数	割合
知っている	22	3.5%
聞いたことがあるが、詳しい内容は知らない	118	18.7%
知らない	487	77.2%
無回答	4	0.6%
計	631	100.0%



問6 「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定されたことをご存じですか。

	人数	割合
知っている	107	17.0%
聞いたことがあるが、詳しい内容は知らない	144	22.8%
知らない	371	58.8%
無回答	9	1.4%
計	631	100.0%



問7 県農政及び安心安全な食生活に関してご意見などがございましたら、お聞かせください。

(主なもの)

《安心・安全な農産物について》

- ・無農薬で野菜を作っているが、採れたてを食べられる喜びは格別。県民の安心安全な食生活を推進して暮らしを豊かにしてほしい。
- ・野菜や果物などに無農薬マークを付けて販売してほしい。
- ・高価になっても無農薬野菜を食べたいと思う人は多いと思う。どうしても必要な農薬なら、その安全性を示し、消費者の理解を得るようにしてほしい。「岐阜県の低農薬野菜」を実施できたら”売り”になると思う。

《農産物の地産地消について》

- ・県の農産物は安心して食べられる。また、近場で採れて新鮮なので利用している。
- ・「ぎふ清流GAP評価制度」等をもっと住民に周知してほしい。
- ・未来ある子ども達のためにオーガニック給食を目指して努力してほしい。
- ・地元の野菜を購入したい気持ちはあるが、JAの直売所か道の駅に行かないと、普通の大型スーパーでは手に入らないことが多い。大型スーパーでも、地元野菜のコーナーが設けられているお店もあるが、外国産や特売商品に交じっての販売となる為、大変割高感を覚え、お財布の中身と相談の結果、泣く泣く安価な商品に手が伸びてしまいがち。

《その他、農政に関する意見》

○担い手・農業ボランティア等

- ・次世代の農業の後継者育成に、力を入れてほしい。
- ・平日は8時間働いているので無理だが、日曜日に農業のボランティアをやりたい。

○広報・イベント関係

- ・地域にどのような生産品があるかなど、地産地消をもっとアピールしてほしい。
- ・GAP、GIAHSなど、PR不足のように思う。積極的なPRが必要だと思う。
- ・岐阜市で開催されていた農業フェスティバルは他県の友人親子を誘って良く行っていたが、コロナ禍で開催されず残念。
- ・岐阜県の食をアピールするのに、有名インフルエンサーを使ったSNSやテレビ露出(県民ショーなど)に力を入れても良いのではと思う。